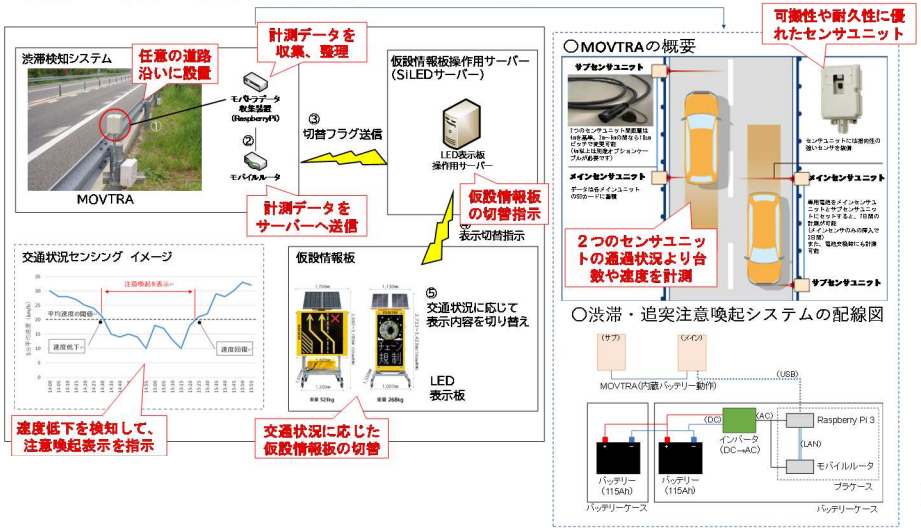
＜ポスターの内容＞

リアルタイム交通情報を発信する渋滞・追突注意喚起対策の効果分析

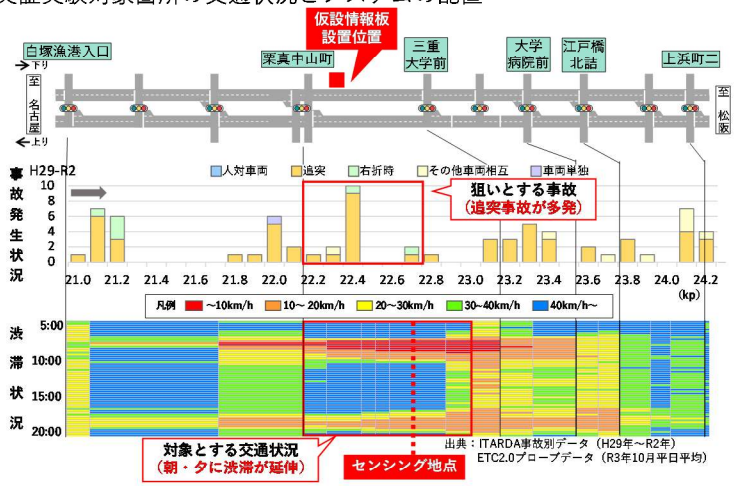
2-B-07

神谷宙希、尾崎拍夢、木下康之、本多正明、中野宏俊、田中翔太（株式会社オリエンタルコンサルタンツ、株式会社エイテック）

■開発した渋滞・追突注意喚起対策のシステム概要



■実証実験対象箇所の交通状況とシステムの配置



■三重河川国道事務所管内における実証実験の実施状況

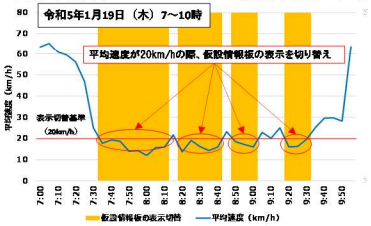
○設置状況

○表示内容

（通常時）

（渋滞発生時）

○実証実験中のシステムの稼働状況と注意喚起切替回数



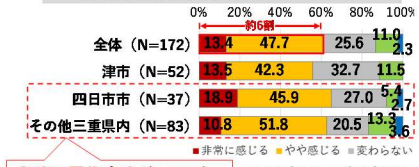
集計期間7時～翌7時	速度低下回数	表示切替回数
1/16（月）～1/17（火）	8回	8回
1/17（火）～1/18（水）	3回	3回
1/18（水）～1/19（木）	2回	2回
1/19（木）～1/20（金）	7回	7回
1/20（金）～1/21（土）	7回	7回
1/21（土）～1/22（日）	0回	0回
1/22（日）～1/23（月）	0回	0回
計	27回	27回

出典：渋滞・追突注意喚起対策のシステムログデータ

■渋滞・追突注意喚起システムの効果

○ドライバーの意識・行動の変化

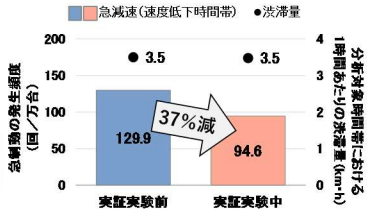
問：情報板の設置により安全性が向上したと感じますか？



出典：Webアンケート（R5年1月26日～30日）

市外に居住するドライバーがより安全性の向上を実感

○実証実験期間中の急減速の変化



出典：ETC2.0プローブデータ（R5年1月10日～13日（実証実験前）、R5年1月16日～20日、23日（実証実験中））

※速度低下時：MOVTRA設置箇所付近において、ETC2.0プローブデータで速度が20km/h以下である時間帯

■今後の展望　【渋滞対策への活用：渋滞を回避する案内誘導】

MOVTRAデータとプローブデータを組合せにより交通集中による渋滞を検知

●その他の開発・活用案

- 複数地点の観測結果の対応
  ：細かな交通状況の変化に対応
- 渋滞回避情報（左図）や広域なエリアの渋滞情報提供
- 取得したデータの蓄積とAI技術の組合せによる渋滞予測　等